

伐って!使って!植えて育てる!

林業ってサステナブル!

しまねの循環型林業

1 伐る!

島根県には
大きく成長した木がたくさん!



木を伐るときには、
こんな機械を
使うよ!



ハーベスタ

木を伐り倒し、
丸太にして集める!



スイングヤード

重たい木を
早く安全に
引き寄せる!



フォワーダ

木を積み込んで
運び出す!

他にはこんな機械が活躍!



チェーンソー



ドローン

林業になくてはならないチェーンソーは、世界規模の伐木チャンピオンシップの競技種目でも使われています。ドローンは、伐採エリアの撮影・測量のほか、苗木の運搬など、林業の世界でも活躍しています。

林業の現場で活躍する重機たち 高性能林業機械

循環型林業の「伐る」って?

50年生ぐらいの立木を伐って丸太にし、市場などに出荷します。島根県では、高性能林業機械の導入や、道の整備などを行い、より効率よく作業ができるよう取り組んでいます。

どうして
木を伐るの?

森を健康な状態に保つため!

大きく育った木を適切な時期に伐って、しっかり使い、再び植えて、育てていくことで、森は循環していきます。それにより森は健康な状態に保たれ、森林の機能が十分に発揮されます。島根県には植えてから41年以上経ち、伐りどきを越えた木が67%を占めています。

高性能林業機械のおかげで、作業もすぐスムーズ! 木を伐るときは、身体の負担も少なくてすむから、島根県でもたくさん使われているんだよ!



NEXT

次は
「使う」!